

イチゴ新品種「ふくあや香(福島5号)」の育成

福島県農業試験場 育種班

平成14年度福島県農業試験場試験成績概要

分類コード 03-07-03000000

部門名 野菜-イチゴ-育種・選抜

担当者 大竹祐一・茅原美佐子

I 新技術の解説

1 要旨

(1) 育成経過

「ふくあや香(福島5号)」は、1996年に福島県農業試験場において、「大鈴」、「アイベリー」、「Chandler」を素材とする選抜系統に、「さちのか」、「章姫」を素材とする選抜系統を交配し、育成された品種である。

(2) 特性概要

「ふくあや香(福島5号)」は、開花期、収穫期が遅く、草勢が強く、果形が円錐で、花房当たりの花数が少ない、促成栽培および半促成栽培に向く品種である。収量性、商品化率が「女峰」より高く、平均果重も重い。糖度、酸度は「女峰」より高く、食味が良好である。

2 期待される効果

厳寒期に草勢が落ちないこと、花数が少なく、収量性が高く、平均果重が重いため、既存品種と比較して栽培管理、収穫・調製作業の省力・低コスト化が期待できる。

3 適用範囲

県内全てのイチゴ栽培地帯

4 普及上の留意点

炭そ病の発生は「女峰」並であるため、育苗期からの防除を徹底する。

II 具体的データ等

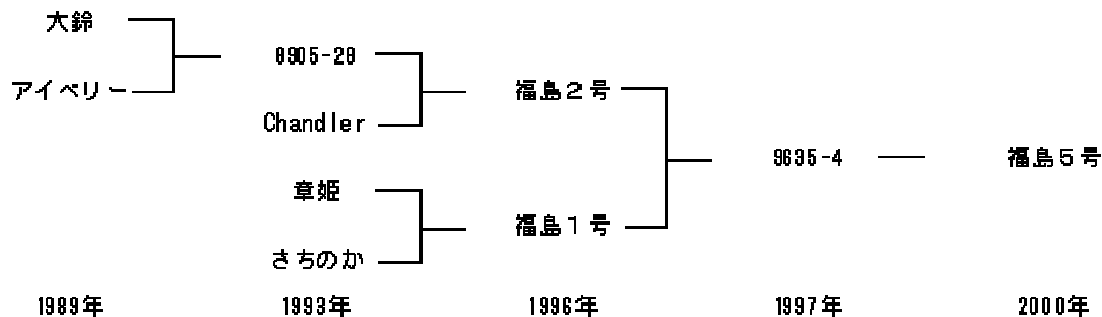


図1 育成系統図

表1 特性比較（下段は測定値）

形質		福島5号	女峰
形態的特性	草姿	立性	立性
	草勢	強	やや強
	草丈（cm）	16.2	12.7
	花柄長 ^a （cm）	21.9	9.0
生態的特性	花芽分化（月日）	9月22日	9月13日
	開花始期（月日）	11月20日	11月2日
	休眠性	やや短	極短
果実特性	果皮の色	鮮紅	鮮紅
	成熟期 ^b	1月18日	12月24日
	糖度（%Brix）	11.1	8.4
	酸度（WT%）	0.69	0.58
	日持ち ^c （%）	やや長	やや長
病害抵抗性	うどんこ病	強	やや強
	炭そ病	弱	弱

^a頂花房の基部から第1番花のがくまでの長さ^b頂花房の第1番果が完熟した日の早晚^c貯蔵温度15℃における8日後の果皮色L値の変化

Ⅲ その他

1 執筆者

大竹祐一・茅原美佐子・高橋 徹

2 主な参考文献・資料

なし